

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 1 6 4 号
件 名	政務活動費の 50%カットを求めることについて
要 旨	<p>新潟市の財政は有史以来の最悪の財政状態となり、平成 29 年度予測では基金残高は 40 億円ですが、実態はその数字を大幅に下回る 20 億円余と推定され、10 年前の平成 19 年度会計の基金残高 315 億円と比較すると基金会計残高は 10 分の 1 以下です。</p> <p>一方、平成 29 年度の市債残高は一般会計（臨時財政対策債を除く）3,959 億円ですが、実態はその数字を大幅に超える 4,000 億円台となり、10 年前の 2,978 億円から約 1,000 億円もの増額となり、このままでは財政破綻状態に転落することが予測されます。</p> <p>このような倒産に等しい財政状態になった最大の要因は、篠田市長並びに議員の経営能力の欠如です。</p> <p>11 月臨時会における職員の給与カットの改正はまさにそのあらわれであり、夕張市に類似した現象が表面化しつつあります。</p> <p>新潟市は事実上倒産した夕張市と同じ道を歩んでおり、篠田市長並びに議会は新潟市の財政を破綻させた責任を取らなければなりません。</p> <p>議会は篠田市長の財政運営に賛同した立場から道義的責任があり、政務活動費を議員みずから 50%カットすることを求め陳情いたします。</p>
付 託 年月日 委員会	平成 29 年 12 月 13 日 議会運営委員会
受 理	平成 29 年 12 月 5 日 第 4 1 1 号